

# 会報

## ◇奈良大学史学会総会

七月二四日(月)、本学において奈良大学史学会総会を開催した。二〇二二年度の決算・会計監査報告および事業報告が行われ、つづいて、二〇二三年度の役員人事案・事業計画案とそれにとりまなう予算案が提案され、それぞれ原案どおり承認された。

## 《二〇二二年度役員》

▽会長

山口 育人

▽副会長

中戸 義雄

▽教員委員

(編集)

河内 将芳

(庶務・会計)

森川 正則

(庶務・交換)

木下 光生

(監査)

関 茂樹／河内 将芳

▽学生委員

(代表)

宮崎 太郎

(青垣祭実行局長)

藤井 来夢

(広報局長)

川北 翔太

(三回生委員)

高橋 樹生

長野 晃久

(二回生委員)

植田 駿

小貫 翔伍

河野 宇大

坂本 健哉

豊田 美結

眞浦 龍

増岡 大勢

山本 大喜

## ◇特別講義

・七月二四日、史学会総会に引き続き特別講義が行われた。

石田 真衣先生(近畿大学文学部)

「古代エジプトのヘレニズム」

・二〇二四年一月二二日、特別講義が行われた。

辻 浩和先生(立命館大学文学部)

「中世奈良の遊女と遊女屋」

## ◇青垣祭

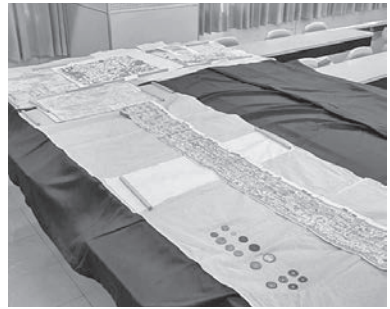
二〇二二年度 第五四回青垣祭より、新型コロナウイルスの行動制限が全て解除されました。そのため、史学会展示ブースには約二〇〇名の来場者がいらっしゃいました。

近年の卒業生、保護者、受験生の方、一般の方と多くの方々に来ていただきました。

今年度の展示のテーマは「貨幣の歴史」について取り上げました。古代から現代までの貨幣の歴史をクイズ形式で展示しました。さらに今年も「古文書体験コーナー」と学生委員のコレクションである古銭を展示しました。

オープンキャンパスで来られた受験生や保護者の皆様に史学科の説明なども行いました。

来年度の青垣祭も今年度と同様、親しみやすいテーマのもと展示を行っていきたいと思います。



## 姫路城



### ◇体験ツアー

今年度五月に姫路城・神戸元町ツアーを一回生歓迎ツアーとして開催しました。ツアーは約二〇名参加していたが、若干の雨に見舞われながらも無事終了しました。白鷺城と呼ばれるように美しい姫路城と日本三大中華街の一つである南京町を散策しました。

## 伊勢神宮



一二月には一回生から三回生までを対象とした、伊勢神宮ツアーを開催しました。伊勢神宮ツアーは、外宮・内宮・おかげ横丁を巡るツアーとなりました。  
ツアーには三七名にご参加いただきました。外宮へ向かう道中、雨に降られましたが、伊勢神宮へ着くと雨がパツと止み、無事参拝することができました。

### ◇会員消息

- ・角谷常子教授が三月三十一日付で退職された。
- ・宮本亮一准教授が四月一日付で着任された。
- ・村上紀夫教授が単著『文献史学と民俗学―地誌・随筆・王権―』（風響社）・単著『怪異と妖怪のメディア史―情報社会としての近世―』（創元社）を刊行された。
- ・外岡慎一郎教授が編著『越前・若狭・武将たちの戦国』（岩田書院）を刊行された。
- ・高橋博子教授が共著『歴史はなぜ必要なのか―「脱歴史時代」へのメッセージ』（岩波書店）を刊行された。
- ・山崎岳教授が共著『岩波講座 世界歴史 第一巻 構造化される世界 一四〇―一九世紀』（岩波書店）を刊行された。
- ・木下光生教授が目録・解題を執筆した奈良大学文学部史学科・奈良県山添村教育委員会編『山辺郡山添村大字菅生 古文書調査報告書 菅生区有文書目録・解題 山添村文化財調査報告書 第4集』が刊行された。

令和四（二〇二二）年度史学科卒業論文題目

織田信長

大西 純基

〔日本史〕

日本古代の天皇陵とその管理

緒方 広樹

紀州惣国について

大西 和貴

律令国家体制の地方権力の考察

小村 洋太

関ヶ原合戦における逸話の真偽

奥島 誉士

―出雲国の検討を中心に―

明智光秀の人物像

細川幽斎と織田信長の関係について

金山 正晃

日本古代史から見る薬に関する一考察

木樽 栓

賀茂競馬と倭文荘

北浦 太郎

―出土文字史料を中心に―

古西 龍海

信貴山城の戦い以後の織田信忠の立場の変化

島松 勇斗

前九年・後三年合戦について

高平 祐利

越後における大名領国

登坂 拓海

古代史における人々の食生活の分析

寶 奎人

嘉吉の変と美作国

長森 雅輝

古代社会における天皇と氏姓の意義の変化

手束 優汰

藤堂高虎の人間関係

西野 宇晃

平安貴族の生活と陰陽道

富岡 花凜

中世における島津氏の領国内政治について

濱元 多聞

日本古代の貨幣制度について

山本 正行

尼子氏の出雲支配

原 凜太郎

☆ ☆ ☆

山本 正行

楠木正成論

藤田 大輝

中世の農民の生存戦略

正見 宏人

細川ガラシャとキリスト教

本田 愛莉

大内氏における妙見信仰の実態と位置づけ

飯野 竜司

南北朝初期における室町幕府侍所の機能について

水野 良紀

海津東浜と海津西浜の境相論について

池田 大和

依網池周辺集落における大和川付け替え工事の是非

村田 海斗

中世の流通について―楽市令と自治都市―

馬野 弘基

津軽為信の選択―関ヶ原の戦いと津軽家―

江端 樹大

津軽為信の選択―関ヶ原の戦いと津軽家―

江端 樹大

依網池周辺集落における大和川付け替え工事の是非

村田 海斗

☆ ☆ ☆

女子高等師範学校設立をめぐる行政の動向

田中 惇裕

近世信濃国佐久郡における曹洞宗寺院と村

櫻井 裕梨

近代の障害者教育に関する考察

田中 花音

近世尾張藩の瀬戸窯業保護政策とその効果

澤井 祐輝

幕末期琉球王国の対外関係

鳥羽 翔也

幕末期における讃岐国仁尾村の人口と家族構成

曾根 優二

近代徳山における産業の発展とその背景

中村 直純

大名抱相撲取の実態

高木 悠至

近代静岡における士族授産の展開

武藤 智成

往馬大社の火祭りと祭祀組織

塚口 京

☆ ☆ ☆

坂上 夏音

宇田川榕菴と洋学

福田 竜平

革新自治体と障がい者教育

鈴木 仁梨

男色文化からみる近世日本のジェンダー

宮田 千華

保育施設の昭和・平成史

鈴木 仁梨

近世大洲城の普請

山口 裕翔

日米貿易摩擦とプラザ合意

堤 和義

版籍奉還期における倭館

渡邊 直仁

一九八〇年代における通貨政策の国際協調

堤 和義

近世大和国における農業と肥料

幸前 旭樹

奈良県における低周波公害とその結末

西 啓佑

☆ ☆ ☆

毛髪にかかわる美容商品の変化に関する研究

明石 百恵

一九八〇年代以降の教科書から見る日本の現代史教育の変遷

長谷川まりん

近代日本における「少女」観の成立

大嶋ひとみ

第二次世界大戦の敗戦国ドイツのとの比較もまじえて

長谷川まりん

明治期日本人の欧米観について

上村 露

自衛隊の災害派遣の歴史的展開

松田 泰知

近代アイヌ民族の漁業権について

柄澤 蒼

昭和・平成期の保健所体制の変遷

宮城 竜征

坂本龍馬の思想と活動

阪村 光輝

山梨県を中心に

宮城 竜征

近代平野郷の歴史的变化について

首藤 陽穂

郵政三事業民営化後のサービス変化と国民生活

宮澤 亮太

ゾルゲ事件と尾崎秀実

白方 稔章

郵政三事業民営化後のサービス変化と国民生活

宮澤 亮太

近代日本における少女観の変容について

高村 風歌

宮澤 亮太

小泉政権下における郵政事業民営化と「抵抗勢力」

山田 航

第三セクターから見た国鉄分割民営化

後藤 啓佑

室町・戦国期における後鳥羽院怨霊についての考察

濱松 里美

矢澤幸汰朗

松永久秀の大和支配について

☆ ☆ ☆

看聞日記に見る中世相撲について

阿部 宏樹

近世怪異譚における首

天野 陽介

戦国時代の今井町における今井兵部をめぐる人間関係

生田 和希

中村古峽を通して見る近代思想

池ヶ谷健人

中国地方における田の神の信仰について

井上こころ

日記に見る幕末社会

大上 裕人

戦国末期における西播磨周辺の政治情勢

上林 春樹

「理想の住宅」をつくる

川合 海加

近世祇園御旅所に関する考察

奥野 夏妃

東通村の芸能の差異

川端 桜

藤堂高虎と徳川家康

楠本 一斗

奈良の人々は何を食べていたのか

岸田 愛美

浅井氏と織田氏の関係性について

小南ひより

アマビエとアマビコ

小林 玲奈

譲渡された日本刀

合田 優太

草双紙における嫁人物の一考察

齊藤 桃子

室町時代における同朋衆の役割について

鷺森 香梨

コレラ流行からみる衛生と民衆

佐々田祥道

織田信長・信忠父子と官位

澤田 大輝

江戸から明治における灘酒造業の展開

豊田 夏海

室町幕府と山門使節

塩野 是真

戦前・戦後武道の変遷

長野明日美

室町・戦国期における興福寺寺僧について

田中 邦明

パリ万国博覧会とジャポニズムの発展

平山 優希

平安時代の病と治療

友永 樹

玩具蒐集趣味はいかにして受け入れられたか

水田 敦仁

前近代における女性の穢れについて

中島 瑞稀

―蒐集家の活動を例に―

水田 敦仁

イエズス会史料とその検証に見る、キリシタンとしての小西行長について

西尾 天斗

日記からみる畿内の麦作

山本 響子

☆ ☆ ☆

宣伝媒体が変えた日本のアニメ

山本 勇也

ギルガメシユ叙事詩と古代メソポタミア人の死生観

大谷 龍哉

近世の旅とジェンダー

山本 理貴

古代アテナイの法と社会 ソクラテス裁判における法廷側の弁論

近世の兵庫津における豪商の誕生と発展

下川 竜輝

教会改革とローマ教皇

霍光輔政について

温 肇宸

キリスト教図像学から見た不思議の国のアリス

【世界史】

安友 優斗

カルタゴにおける国制の成立―スフェト制を中心に―

秦漢時代の法における性差

伴野 圭

ヒッタイト帝国の滅亡とその要因

非漢民族の漢化政策とその比較研究

星 潤哉

古代ローマにおける円形闘技場

清代における中越関係と海賊

星 潤哉

古代の天文学とその変容

清末の女子留学生

大賀 美帆

古代アテナイのディオニソス祭儀

—湖南省の教育改革と女子留学生派遣—

川嶋 南波

ビザンツ帝国とテマ制

明王朝と万里の長城

池田 拓史

1930年代後半のソ連外交

ミレットとミレット制度の実態

大原 遼也

—スペイン内戦から独ソ不可侵条約まで—

ドゥルーズ派の出現

谷 紀徳

フランスでの猫に対する印象の変化

イブン・ハルドゥーンのムルク論における「連帯意識」

榊崎 諒

イギリスとコーヒー

16世紀のラージプート諸王朝とアクバル大帝

太卷 美咲

第二次世界大戦中の「ゲッター化」政策

―絶滅政策の前段階としてのワルシャワ・ゲッター―

大坪 賢斗

ナチス政権とドイツ中小事業者

尾崎 雄斗

赤十字と日本の関係

木越 隼斗

江戸時代初期における仙台藩の対外政策

小林 愛瑠

オランダの貿易システム形成

齊藤 健斗

戦後イギリスの教育―中等教育に着目して―

下村 遼祐

中世の黒死病

多井中奈津子

20世紀ウクライナ史における言語問題

辻 久美子

イギリスの牛乳政策の歴史

筒井萌々子

19世紀プロイセンにおけるポーランド人

恒石 元輝

ピットによる東インド会社のインド統治改革

藪 秀輔

イスラム国（IS）

青木 洸平

ヒトラーとナチ・ドイツ

―「ヒトラー崇拜」から見えてくるヒトラー・イメージ― 越智 優

本田技研工業、ロードレース世界選手権への挑戦

尾崎 冬威

☆ ☆ ☆

フェミニズムの視点から見た女性とアートの関わり

上田 瑞稀

近現代化した戦争による人々の心理状況

甲斐みのり

戦後日本の在り方とアメリカの影響

小谷 明義

黒人の結婚の歴史

椎葉妃菜季

北朝鮮を支配する金一族の独裁政治の真実

鈴木 稜平

20世紀初頭の移民排斥から見る「アメリカ人」像

松尾 亮我

満蒙開拓青少年義勇軍の実態

森下 港

東欧革命とソビエト連邦崩壊の関係性

吉本 薫

令和四（二〇二二）年度文学研究科修士論文題目

西北漢簡における「書」と「記」に関する考察

牛尾 泰生

中世後期における惣国一揆の紛争裁定と「走廻衆」の役割

―甲賀郡中惣を素材として― 内海 遙花

豊臣政権期における城破りの画期性と実態について

紺野 佑介



受贈雑誌及び図書

(二〇二二年一月一日～二〇二三年一〇月三十一日受贈分)

【雑誌】

- 愛大史学（愛知大学文学部歴史地理学科） 三二二号  
青山史学（青山学院大学文学部史学研究室） 四一号  
明石の歴史（明石市編さん委員会） 六号  
岩手史学研究（岩手史学会） 一〇三号  
鷹陵史学（鷹陵史学会） 四九号  
大分県立歴史博物館研究紀要 一三三号  
大阪公立大学東洋史論叢（大阪公立大学大学院文学研究科  
東洋史研究室） 二二二号  
大阪公立大学日本史（大阪公立大学日本史学会） 二二六号  
大谷大学史学論究（大谷大学文学部歴史学科） 二八号  
オクサス学会紀要 7  
お茶の水史学（読史会） 六六号  
海南史学（高知海南史学会） 六一号  
漢学研究通訊（漢学研究中心 台湾・台北市） 一六四号  
一六七期  
神田外語大学日本研究所紀要 一五号

紀尾井論叢（上智大学 Sapientia 会） 八号

吉備地方文化研究（就実大学吉備地方文化研究所） 三三二号

- 京都学・歴史館紀要（京都府立京都学・歴史館） 六号  
キリスト教史学（キリスト教史学会） 七七集  
熊本史学（熊本史学会） 一〇三号  
群馬県立世界遺産センター紀要 三号  
神戸大学史学年報（神戸大学史学研究会） 三八号  
国士館史学（国士館大学史学会） 二七号  
国史談話会雑誌（東北大学国史談話会） 六三三集  
史苑（立教大学史学会） 八三卷一～二号  
史学（三田史学会） 九一卷三～四号、九二卷一～二号  
史学研究集録（國學院大学大学院史学専攻大学院会） 四六～四七号  
史観（早稲田大学史学会） 一八八～一八九冊  
四国遍路と世界の巡礼（愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター） 八号  
史聚（史聚会） 五六号  
史泉（関西大学史学・地理学会） 一三七～一三八号  
史艸（日本女子大学史学研究会） 六三三号

- 史叢（日本大学史学会） 一〇七～一〇八号  
 史友（青山学院大学史学会） 五五号  
 就実大学史学論集（就実大学総合歴史学科） 三七号  
 秋大史学（秋田大学史学会） 六九号  
 上越社会研究（上越教育大学社会科教育学会） 三七号  
 上智史学（上智大学史学会） 六七号  
 常民文化研究（神奈川大学日本常民文化研究所） 一卷  
 信大史学（信大史学会） 四七号  
 人文学報（東京都立大学人文科学研究科） 五一九―一九号  
 スペイン史研究（スペイン史学会） 三二六号  
 住友史料館報 五四号  
 聖心女子大学大学院論集 六四号  
 西洋史論叢（早稲田大学西洋史研究会） 四四号  
 橘史学（京都橘大学歴史文化学会） 三七号  
 地域研究いたみ（伊丹市） 五二号  
 近松研究所紀要（園田学園女子大学近松研究所） 三一号  
 千葉史学（千葉歴史学会） 八一～八二号  
 中央史学（中央史学会） 四六号  
 中京大学文学会論叢 九号  
 帝京史学（帝京大学文学部史学科） 三八号
- 帝京大学外国語外国文化（帝京大学外国語学部外国語学科）  
 一四号  
 東海史学（東海大学史学会） 五七号  
 東京大学日本史学研究室紀要 二七号  
 唐宋変革研究通訊（唐宋変革研究会） 一四輯  
 東洋大学文学部紀要 七六集 史学科篇 四八号  
 東洋文化研究（学習院大学東洋文化研究所） 二四号  
 長野県立歴史館研究紀要 二九号  
 七隈史学（七隈史学会） 二五号  
 奈良学研究（帝塚山大学奈良学総合文化研究所） 二五号  
 寧楽史苑（奈良女子大学史学会） 六八号  
 鳴門史学（鳴門史学会） 三三集  
 新潟史学（新潟史学会） 八三～八五号  
 日本研究（国際日本文化研究センター） 六五～六七集  
 日本思想史研究（東北大学大学院文学研究科日本思想史研  
 究室） 五四号  
 日本常民文化紀要（成城大学大学院文学研究科） 三七輯  
 日本文化史研究（帝塚山大学奈良学総合文化研究所） 五  
 四号  
 日本モンゴル学会紀要 五三三号

年報近現代史研究（近現代史研究会） 一五号

年報中世史研究（中世史研究会） 四八号

白山史学（白山史学会） 五九号

パブリック・ヒストリー（大阪大学西洋史学研究室） 二

〇号

非文字資料研究（神奈川県立文化研究所非文字資

料研究センター） 二五～二六号

非文字資料研究センター News Letter（神奈川県立文化

研究所非文字資料研究センター） No. 48～49

弘前大学国史研究（弘前大学国史研究会） 一五三～一五

四号

文学論叢（愛知大学人文社会学研究所） 一六〇輯

法政史学（法政大学史学会） 九八～九九号

法政史論（法政大学大学院史学会） 五〇号

北大史学（北大史学会） 六二号

北陸史学（北陸史学会） 七一号

三重大史学（三重大学文学部考古学・日本史・東洋史研

究室） 一三二号

御影史学論集（御影史学研究会） 四八号

三井文庫論叢 五六号

民具マンスリー（神奈川県立文化研究所） 五五

巻八～一二号、五六巻一～七号

明大アジア史論集（明治大学東洋史談話会） 二七号

メトロポリタン史学（メトロポリタン史学会） 一八号

山口県史研究（山口県史編さん室） 三二号

ヨーロッパ文化史研究（東北学院大学ヨーロッパ文化総合

研究所） 二四号

洛北史学（洛北史学会） 二五号

立正史学（立正大学史学会） 一三二～一三三号

立命館史学（立命館史学会） 四二号

龍谷史壇（龍谷史学会） 一五五～一五六号

龍谷大学日本古代史論集（龍谷大学大学院文学研究科日本

史学専攻古代史ゼミナール） 五号

歴史（東北史学会） 一三九～一四〇輯

歴史遺産研究（東北芸術工科大学歴史遺産学科） 一七号

歴史研究（愛知教育大学歴史学会） 六八号

歴史研究（大阪教育大学歴史学研究室） 六〇号

歴史人類（筑波大学大学院人文社会学ビジネス科学学術院人

文社会科学研究群人文学学位プログラム歴史・人類学サ

プログラム） 五一号

歴史と民俗（神奈川県立日本常民文化研究所） 三九〜四〇号

和菓子（虎屋文庫） 二〇号

Japan Review (The International Research Center for Japanese Studies) Vol. 37

【図書】

愛知大学人文社会学研究所主催オンラインシンポジウム  
仕事のやりがい、有意義性を考える―東洋、西洋、実証  
研究

愛知大学総合郷土研究所ブックレット三三三 ふるさと「私」

の始原（武田圭太）

明石市文化財調査報告第一二冊 太寺廃寺Ⅳ―境内周辺地

の調査―

明石市立文化博物館企画展 柿本人麿と明石―歌・信仰・

文化―

明石の墓と祭祀（発掘された明石の歴史展実行委員会、明

石市）

生駒市史料集第一集 近世・近代史料1 近代郷土誌・

風俗誌

生駒市文化財報告書第四〇集 生駒市古文書調査報告書Ⅵ  
南地区

伊丹市史料集一四 小西酒造萬歳蔵史料 近世伊丹の学び  
舎―明倫堂・橋本香坡書簡集

茨城大学人文社会科学部考古学研究报告第一三冊 常陸国

「建評」前後の古墳研究―調査報告（墳丘・石室・遺物）―

越前市史 資料編3 中世2

越前市史 別冊 雜書留―旗本金森左京家 江戸留守居役

の雜記帳―

大分県仏教美術調査報告九 国東半島の宝篋印塔（大分県

立歴史博物館）

大分県仏教美術調査報告一〇 豊後国速見郡鶴見七湯の記

続編（大分県立歴史博物館）

大分県立歴史博物館年報二〇二二

学習院大学東洋文化研究所設立七〇周年記念シンポジウム

世界に展開する東洋学―海外と日本の中国史研究―講

演資料集

金沢学院大学考古学調査報告3 河田向山古墳群測量調査

報告書（1）（金沢学院大学文学部文学科歴史学専攻考

古学ゼミ）

金鯢叢書（徳川黎明会） 五〇輯

国史跡指定記念三好長慶生誕五〇〇周年記念飯盛城跡調査

報告会 クローズアップ飯盛城二〇二二資料集（四條畷

市教育委員会、四條畷市立歴史民俗資料館、大東市、大

東市立歴史民俗資料館）

群馬県立歴史博物館第一〇七回企画展 上野三碑の時代―

七・八世紀の都と東国

芸備地方中世古文書集成（四） 美作豊楽寺文書（就実大

学吉備地方文化研究所）

皇室制度史料 儀制 踐祚・即位 二（宮内庁）

四條畷市史資料第一集 河内国讚良郡岡山村文書―図書館

収集文書目録―

四條畷市立歴史民俗資料館第三七回特別展 シデウナハテ

関西の軽井沢・日本のフィヨルド―明治―昭和期の四條

畷観光と鉄道―

虎屋文庫五〇周年記念！ 和菓子のはじめて―物語展

彦根城世界遺産登録推進シンポジウム記録集（彦根城世界

遺産登録推進協議会）

常陸国「建評」前後の古墳研究―鹿島・香取「神郡」成立

の背景を景観復元からみる考古学的実証研究（科学研究

費補助金（基盤研究（C）） 研究成果報告書【二〇一八

―二〇二二年度】 研究代表 茨城大学人文社会科学部

考古学研究室 田中裕）

宮城県多賀城跡調査研究所年報二〇二二 多賀城跡

都城市所有・寄託史料 史料調査報告書（1）（都城市教

育委員会）

都城市所有・寄託史料 史料調査報告書（2）（都城市教

育委員会）

都城島津伝承館史料集第一二号 都城島津家役所日記一二

（都城島津邸）

向日市文化資料館令和三年度特別展「日本画家・六人部暉

峰の世界」記念シンポジウム「六人部暉峰と明治期京都

画壇」報告集

最上期山形城絵図の世界（東北芸術工科大学歴史遺産学科）

モダンガールのたしなみとよそおい いたみの学び舎―橋

本香坡と明倫堂（市立伊丹ミュージアム）

柳沢文庫年報第一号 令和四年度（郡山城史跡・柳沢文

庫保存会）